



# ゆりぐみだより

2023年 11月 第4号

早いもので、ゆりぐみの生活も半分以上が過ぎてしまいました。運動会で子ども達の大きな成長を感じ嬉しい反面、卒園に向けてのカウントダウンが少しずつ進んでいることに寂しさもあります。今しか出来ない事をたくさん経験し、豊かな学びへと繋がっていけるような保育をこれからも行き、子ども達にとって忘れられない素敵な思い出をひとつでも多く作っていきたいと思います。



## こころをひとつに

皆で頑張って練習してきた運動会。暑くても、疲れても必ず練習後には「楽しかった」と言ってくれる子ども達。様々な競技に一生懸命取り組んでいく姿はとても素敵でした。バルーンや遊戯は曲選びから子ども達と一緒にいき、入場の曲も子ども達のお気に入りの1曲でした。動きを皆で考えながら、ちょっと難しいかなと思っても「頑張るから大丈夫」とやる気満々！！バルーンでも遊戯でも片膝を付いて力を入れる事も多かったのですが、「いたい」と言ったり、膝の砂をほろったりすることなく白く砂の付いた膝からも子ども達の頑張りを感じられました。「笑顔で楽しむ」と心ひとつに臨んだ運動会。皆の笑顔が眩しかったです。運動会が終わっても「もう一回やりたい」と言っている子ども達。皆で楽しくやり遂げることができて大満足ようです。

今月からは1人少なくなってしまう16人となるゆりぐみ。話をした時には涙を流して悲しむ子が多く見られました。「ずっと友達だよね」「また会えるよね」と目を潤ませながら手を取り合う姿と一緒に過ごしてきた子ども達の絆、想いを感じました。「離れてもつながっているよ」「また会える時まで頑張ろうね」と心のつながりは続くようです。小学校で離れてしまう子もいるので、それぞれの場所で元気に頑張る、またいつか皆で会えたらいいですね。



## おもしろエピソード

様々な遊びを楽しむ中で、何にでも名前を付ける子ども達。ごっこ遊びをする時には、名前を決める所から始まります。ブロックひとつずつにも名前を付ける時があり、同じ形、同じ色に見える物でも、子ども達には違いがあるようです。「みーちゃん」「ぷりんちゃん」は可愛いなと思って聞いていましたが、そのうち「とめちゃん」「うめちゃん」「ちょうすけ」「たかしさん」となかなか古風な名前が多く付けられていました。保育士にも名前を付けることもあり、色々話をする中で「はい～」と言うことがあるので「やすこ」と付けられました。

保育園の給食が大好きなゆりぐみさん。「世界で一番おいしい」と言っておかわりをしながら食べています。メニューが唐揚げだったある日、「この唐揚げ、超おいしい」と満面の笑み。「おいしくてチキンみたい」と食べていました。「唐揚げもチキンだよ」と話をすると「えー！」と驚いていました。鶏は鶏でも子ども達の思い描いているチキンは違うものようですね。



## 楽しかったパノラマ公園

「運動会が終わったらパノラマ公園」と楽しみにしていた園外保育。パノラマ公園と聞いただけではわからなかったようで、バスの中では公園を探しながらキョロキョロ！看板を見つけて「書いてあった」と大興奮！展望台を見つけて「ここ知ってる」とワクワクが止まらない子ども達でした。最初に十王ダムの噴水を見てからアスレチックに移動し、ローラー滑り台やターザンロープを楽しんだり、遊具で自由に遊びました。よほどローラー滑り台が気に入ったようで、他の遊具をほとんど使わず繰り返し滑り台を楽しんでいました。帰りのバスでは「これが朝だったら、まだまだ遊べるのに」とまだまだ遊び足りなかったようです。

